

平成30年度 藤崎台保育園 事業計画書

1. 保育の運営

- (1) 所在地 熊本市中央区古京町3-5
- (2) 定員 実数4月現在
- | | | |
|--------|---------|---------|
| 0歳児…9名 | 1歳児…11名 | 2歳児…14名 |
| 3歳児…9名 | 4歳児…14名 | 5歳児…14名 |
| 合計71名 | | |
- (3) 職員数 16名（園長・主任・副主任・保育士・看護師・事務・栄養士・調理士）
- (4) 保育時間
- | | 基本開所時間 | 延長保育児時間 |
|-------|-----------------------|-------------|
| 標準時間 | | |
| 平日 | 7:00～18:00 | 18:00～19:00 |
| 土曜日 | 7:30～18:00（3月現在17:00） | |
| 短時間保育 | | |
| 平日 | 9:00～17:00 | 17:00～19:00 |
| 土曜日 | 9:00～17:00 | |

2. 基本理念 一人一人の子どもが元気な体と心が育まれる保育園。
個の成長と集団としての活動の充実を図る。
保護者と地域で協力しながら、信頼される保育園を目指す。
3. 保育方針 子どもの生活・情緒の安定を図りながら、自分でしようとする気持ちを尊重する保育。
子どもを温かく見守り、愛情豊かに、応答的に関わっていく。
人と関わることの楽しさや人の役に立つ喜びを味わえるようにする。
家族の愛情に気づき、家族を大切にしようとする気持ちが育つようになる。
4. 保育目標 自分の気持ちを伝えたり相手の話も聞ける。
保育園での決まりを知り約束が守れる。
興味のあることや経験することを楽しむ。
生命を大切にする気持ち、公共心、探究心などを養う。

食の大切さをしり興味関心をもつ。

異年齢児との関わりを通して、生きる力を育む。

5. 保育内容 乳幼児期

健やかに伸び伸びと育つ

身近な人と気持ちが通じ合う

身近なものとの関わり感性が育つ

*個々の子どもたちの発達の連続性を丁寧に保障していくこと。

3才以上児

保育の「ねらい」及び「内容」について

心身の健康に関する領域・・・ 『健康』

人との関わりに関する領域・・・ 『人間関係』

身近な環境との関わりに関する領域・・・ 『環境』

言葉の獲得に関する領域・・・ 『言葉』

感性と表現に関する領域・・・ 『表現』

*個の成長と集団としての活動の充実が図られるようにする。

上記を踏まえ各クラスで年齢に応じた活動を行う。

『健康』

- ・ 戸外遊びを多く取り入れ、体力を付けていく。
- ・ 食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心を持つ。
- ・ 生活のリズムを身に付ける。
- ・ 生活に必要な活動を自分でする。
- ・ 見通しを持って行動する。

『人間関係』

- ・ 自分でできる事はじぶんでする。
- ・ 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。
- ・ 友達の良さに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。
- ・ よいこと、悪い事に気付き行動する。
- ・ 思いやりを持つ。
- ・ 生活する中での決まりの大切さに気付き、守ろうとする。
- ・ 高齢者をはじめ地域の人々に親しみを持つ。

『環境』

- ・ 自然に触れて生活し変化に気付く。
- ・ 季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。

- ・身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ。
- ・生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にすること。
- ・身近なものを大切にすること。
- ・日常生活の中で数量・図形・標識・文字に関心をもつ。

『言葉』

- ・自分なりの言葉でしてほしこと、したいことを表現すること。
- ・ひとの話を注意して聞き、相手に分かるように話す。
- ・親しみをもって日常の挨拶をする。
- ・絵本や物語などに興味をもち、想像をする楽しさを味わう。
- ・文字などで伝える楽しさを味わう。

『表現』

- ・生活の中で5感を楽しむ。
- ・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにすること。
- ・感動したことを伝え合う楽しさを味わう。
- ・いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。
- ・音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。
- ・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりする楽しさを味わう。

*各クラス年間計画を作成月間計画⇒週案⇒日誌⇒個別を記入する。

*年間行事計画 別紙参照 I

6. 保健関係

- ・健康状態並びに発育及び発達状態について、定期的・継続的に、また、必要に応じて随時、把握すること。
- ・登園及び保育中を通じて子どもの状態を観察し、疾病が疑われる状態や傷害が認められた場合、看護師の専門性を生かした対応を図り保護者に連絡すること。

健診

内科健診 年4回（4月、7月、10月、1月）

歯科検診 年1回（6月）

身体測定 毎月 胸囲（5月、9月、1月）

頭囲（5月、10月、11月）0歳児のみ

職員健診 年1回

職員検便 調理従事者のみ

- ・けが防止ヒヤリハット活動の充実（事故・けがの記録等への記入）

7、防災、防犯、安全管理

- ・定期的に避難訓練を実施する。（火災・地震・竜巻・不審者）
- ・防災備蓄品の点検と充実。
- ・交通安全教室の実施・交通安全訓練を伴う散歩。
- ・遊具・固定遊具の点検（毎週土曜日）
- ・緊急時の対応の具体的内容及び手順、職員の役割分担、避難訓練計画等に関するマニュアルを作成する。

8、保育実習、ナイストライ（中学生）、インターンシップ（高校生）

- ・養成校と連携の下時期的に受け入れる。
- ・中高生の希望があれば受け入れる。

9、職員のキャリアパス等の研修計画

- ・園内研修を計画的に行う。
- ・保育士等キャリアパスに係る研修計画の構築を行い受講する。
- ・毎日の昼礼、月1職員会議・園内研修

*研修計画案 別紙参照Ⅱ

10、家庭連絡

- ・個別の連絡帳（未満児・以上児）
- ・園だより、クラスだより、活動表（月1回全員配布）
- ・給食だより、献立表（月1回世帯配布）
- ・その他（掲示板等で保育活動の見える化）

11、給食

- ・栄養士が献立を作成し、調理士とともにバランスのとれた栄養の提供を図る
また、手作りおやつも多く実施する。
- ・アレルギーのある園児については、保護者に医師の確認書を提出してもらい
代替え食等の準備をする。
- ・アレルギーのある園児の誤飲誤食を防ぐため、食器の色を分けて提供する。
- ・食中毒等の発生予防に、調理する際には衛生面に配慮し、食材にも厳選し、
安全を期す。

*食育計画表 別紙参照Ⅲ

1 2、活動内容

- ・英語教室（3歳児、4歳児、5歳児）月2回
- ・散歩（クラス別、異年齢等）週2回
- ・クッキング（2歳児、3歳児、4歳児、5歳児）月1回
- ・地域交流会（3歳児、4歳児、5歳児、地域の老人会）年3回
- ・誕生会（全クラス、誕生者の保護者）毎月1回
- ・毎朝体操（冬：マラソン）
- ・保育見学会 前期：5月、6月、7月、10月、
後記：11月、1月、2月、3月、
（日常の保育見学のため行事ごととは不可とする）

1 2、小学校との連携

- ・資質・能力と心情・意欲・態度・の視点で幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を元にした接続のカリキュラムを作成する。
 - ア 健康な心と体 イ 自立心 ウ 協同性 エ 道徳性・規範意識の芽生え
 - オ 社会生活とのかかわり カ 思考力の芽生え キ 自然との関わり・生命尊重
 - ク 数量や図形、文字等への関心・感覚 ケ 言葉による伝え合い コ 豊かな感性と表現
- ・小学校（一新・城西等就学先となる）を訪問し交流する。
- ・保育園から就学先となる小学校へ『保育所児童要録』を作成し送付する。

1 3、職員及び担当、

- 園長：八高 雪枝
- 主任保育士：江口 弥穂
- 副主任保育士：白柿 清子
池田 あゆみ
- ぞう組（5歳児）：柳原沙織 渡邊チナミ
- きりん組（4歳児）：江口弥穂
- くま組（3歳児）：井上英由絵
- たぬき組（2歳児）：鶴田正美 上村希 前野朋子
- うさぎ組（1歳児）：宮原智子 池田あゆみ
- りす組（0歳児）：白柿清子 西村香里 宮村・美佐（看護師）
 - 看護師： 宮村 美佐
 - 事務： 福田 宏美
 - 栄養士： 浦野 ちあき
 - 調理師： 岩本 信子、